

2025 高陽ヨネックス国際チャレンジバドミントン大会

参加報告書

大阪府レディースバドミントン連盟 福田美絵

大会名 2025高陽ヨネックス国際チャレンジバドミントン大会

期 日 2025 年9月7日(土)～8日(日)

会 場 高陽体育館 他3カ所

参加者 18名(大阪府レディースバドミントン連盟所属)

参加国 9つの国と地域(台湾・ブルネイ・マレーシア・中国・香港・日本・マカオ・シンガポール・韓国)

全参加者数 約2,500 名(内 海外からの参加は372名)

9月5日(金)仁川空港到着。空港からホテルまでバスでの送迎がありました。

種目は20才～70才以上の年齢別、ランク別A.B.C.Dと例年通り。連盟からの参加者は9組18名がエントリーし8日(日)にWD・XDが行われました。試合は朝8時開始で試合は25点 1ゲーム延長なし。タイムテーブルは15分刻み。昨年と同様に進行が遅れ、お別れパーティの開始時間を30分繰り下げました。

また、1コートのみコートマットとチャレンジのカメラがコート四隅に設置されていました。

基本はセルフジャッジなのですが、チャレンジも行えるようになっていました。

コート四隅に設置されたカメラは、本部のパソコンに映像が映し出されレフェリーが判定するという方法となっておりました。

試合の結果は以下の通り

45WD B	南口・米田組	優勝
60WD A	松本・森組	準優勝
60WD B	桐原・居村組	準優勝
55WD A	山田・川橋組	3位
50WD B	米倉・福田組	3位

(賞品は、優勝 ラケット

準優勝 ラケットバッグ 3位 布製ボンサック)



試合は線審がいなくプレーヤー自らジャッジする、セルフジャッジで行われました。

お互いにフェアにジャッジし、トラブルになるようなことは1度もありませんでした。

しかし、風の影響がとても強く、風を気にしながらプレーをするのがとても大変でした。

ここまで風の影響を感じながらプレーをしたことが無かったので、日本の会場はとても恵まれていると感じました。

また韓国の審判員は、ウェアの袖にあるワッペンやウェアの色で級が分かるようになっていました。

決勝トーナメントでは、上級審判員の方が主審を担当してくださいましたが、

やはり予選リーグの審判員とは違いマッチコントロールがしっかりとしており、安心して試合に臨むことができました。

タッチパネルやチャレンジシステムと国際親善にも取り入れていけたら良いと思いました。

中々難しいでしょうけど…。

大阪府レディースバドミントン連盟の審判部もオリジナルの黒ポロウェアを作成してみたいなと思いました。

